

平成25年7～9月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業(個人経営の事業所)の業況判断D I

- ① 今期の業況判断
今期(平成25年7～9月期)の業況判断D Iは (-)64.0 で、前期(平成25年4～6月期) (-61.8)に比べ、2.2ポイントの悪化。
- ② 来期の見通し
来期(平成25年10～12月期)の業況見通しD Iは (-)58.3 で、今期の業況判断 (-64.0)に比べ、5.7ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 -調査産業計-

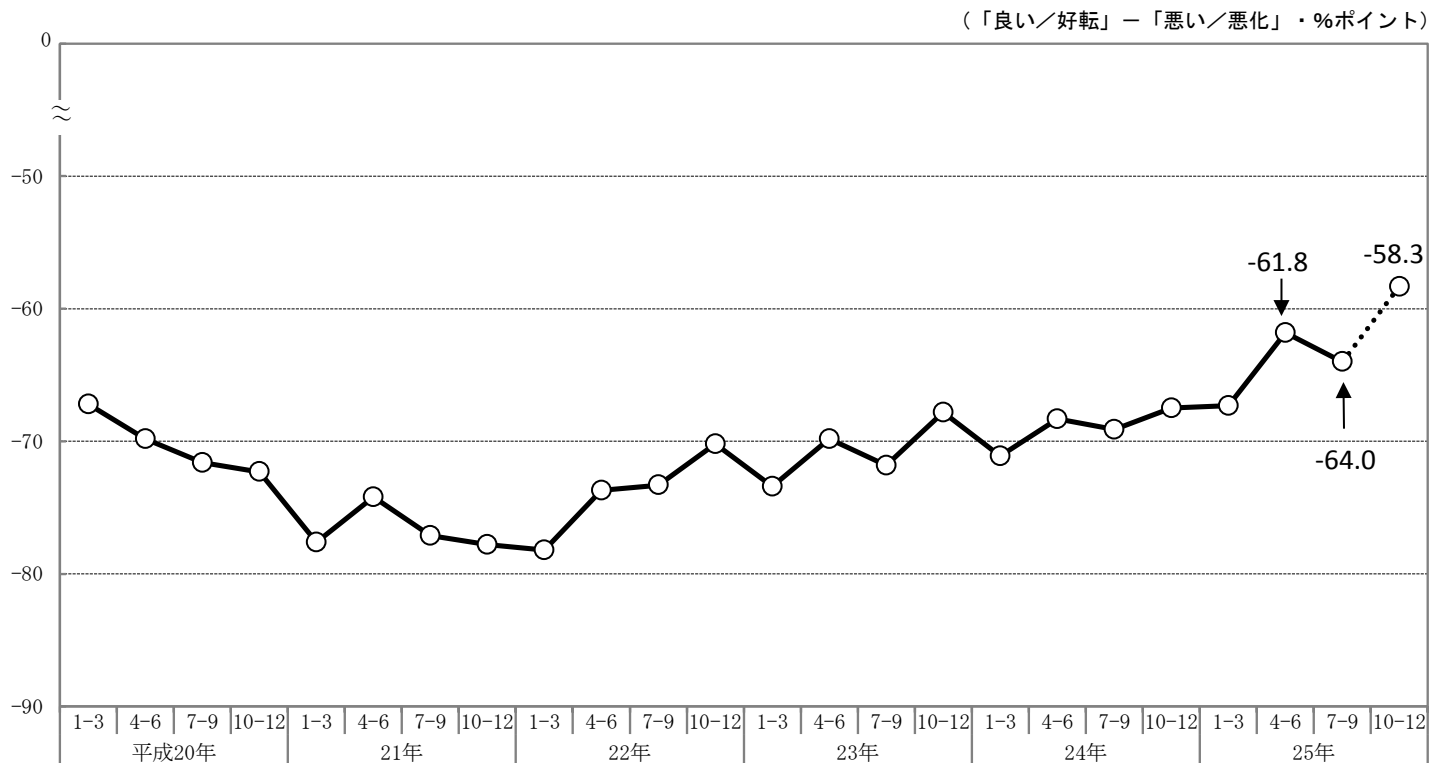


表1 業況判断の割合 -調査産業計-

	平成24年		25年			
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	2.0	3.5	2.8	3.5	3.0	3.2
普通/不変	27.0	25.6	27.2	31.2	30.0	35.3
悪い/悪化	71.1	71.0	70.1	65.3	67.0	61.5
D I	-69.1	-67.5	-67.3	-61.8	-64.0	-58.3
参考						
日銀短観(大企業全産業計)	2	-3	-1	8	13	13
中小企業景況調査(全産業計)	-36.7	-38.3	-38.8	-29.5	-29.0	-11.3

(注) 「中小企業景況調査」：(独) 中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成25年10月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	211万9000円で、前年同期に比べ、9.1%の減少
□「卸売業、小売業」は	396万9000円で、前年同期に比べ、5.5%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	215万8000円で、前年同期に比べ、0.3%の減少
□「サービス業」は	127万4000円で、前年同期に比べ、8.8%の増加
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	65万1000円で、前年同期に比べ、6.4%の増加
□「卸売業、小売業」は	44万6000円で、前年同期に比べ、3.0%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	43万3000円で、前年同期に比べ、22.3%の増加
□「サービス業」は	43万7000円で、前年同期に比べ、5.0%の増加

※前年同期(平成24年7～9月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
実数 (千円)	平成23年 7～9月期	2,108	615	4,341	473	2,192	446	1,248	458
	10～12月期	2,364	674	4,477	447	2,113	400	1,301	505
	平成24年 1～3月期	2,485	633	3,957	385	1,963	363	1,102	396
	4～6月期	2,495	606	4,278	415	2,086	348	1,204	447
	7～9月期	2,332	612	4,201	433	2,164	354	1,171	416
	10～12月期	2,682	765	4,431	435	2,189	390	1,291	463
	平成25年 1～3月期	2,086	563	3,948	368	2,058	383	1,232	427
	4～6月期	2,183	630	3,932	398	2,087	424	1,405	522
	7～9月期	2,119	651	3,969	446	2,158	433	1,274	437
前年同期比 (%)	平成23年 7～9月期	-16.0	-5.8	9.5	-7.6	1.9	12.6	-4.2	-3.4
	10～12月期	-10.0	-4.4	-2.0	-17.8	-8.0	-6.5	-1.9	7.0
	平成24年 1～3月期	21.7	9.0	-3.5	-15.0	-4.7	0.6	-9.7	-0.8
	4～6月期	21.2	-2.4	3.3	-4.4	-2.0	-11.7	-5.9	-10.1
	7～9月期	10.6	-0.5	-3.2	-8.5	-1.3	-20.6	-6.2	-9.2
	10～12月期	13.5	13.5	-1.0	-2.7	3.6	-2.5	-0.8	-8.3
	平成25年 1～3月期	-16.1	-11.1	-0.2	-4.4	4.8	5.5	11.8	7.8
	4～6月期	-12.5	4.0	-8.1	-4.1	0.0	21.8	16.7	16.8
	7～9月期	-9.1	6.4	-5.5	3.0	-0.3	22.3	8.8	5.0

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	13万9000円で、前年同期(10万円)に比べ、増加
□「卸売業、小売業」は	8万1000円で、前年同期(7万1000円)に比べ、増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	7万8000円で、前年同期(11万5000円)に比べ、減少
□「サービス業」は	4万5000円で、前年同期(9万1000円)に比べ、減少
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	6.6%で、前年同期(4.3%)に比べ、2.3ポイントの上昇
□「卸売業、小売業」は	2.0%で、前年同期(1.7%)に比べ、0.3ポイントの上昇
□「宿泊業、飲食サービス業」は	3.6%で、前年同期(5.3%)に比べ、1.7ポイントの低下
□「サービス業」は	3.5%で、前年同期(7.8%)に比べ、4.3ポイントの低下

※前年同期(平成24年7～9月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成23年	7～9月期	45	2.1	82	1.9	59	2.7	70	5.6
	10～12月期	76	3.2	86	1.9	121	5.7	83	6.4
平成24年	1～3月期	79	3.2	49	1.2	53	2.7	56	5.1
	4～6月期	94	3.8	76	1.8	64	3.1	101	8.4
平成25年	7～9月期	100	4.3	71	1.7	115	5.3	91	7.8
	10～12月期	131	4.9	60	1.4	64	2.9	74	5.7
	1～3月期	65	3.1	100	2.5	64	3.1	125	10.1
	4～6月期	56	2.6	118	3.0	59	2.8	63	4.5
	7～9月期	139	6.6	81	2.0	78	3.6	45	3.5

II 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成25年7～9月期）の業況判断DIは(-)64.0で、前期（平成25年4～6月期）(-61.8)に比べ、2.2ポイント悪化した。

イ 前期と比較した業況判断DIは(-)48.6で、前期(-41.5)に比べ、7.1ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成24年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)55.1で、前期(-52.8)に比べ、2.3ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成25年10～12月期）の業況見通しDIは(-)58.3で、今期の業況判断(-64.0)に比べ、5.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断DIの推移 -調査産業計-

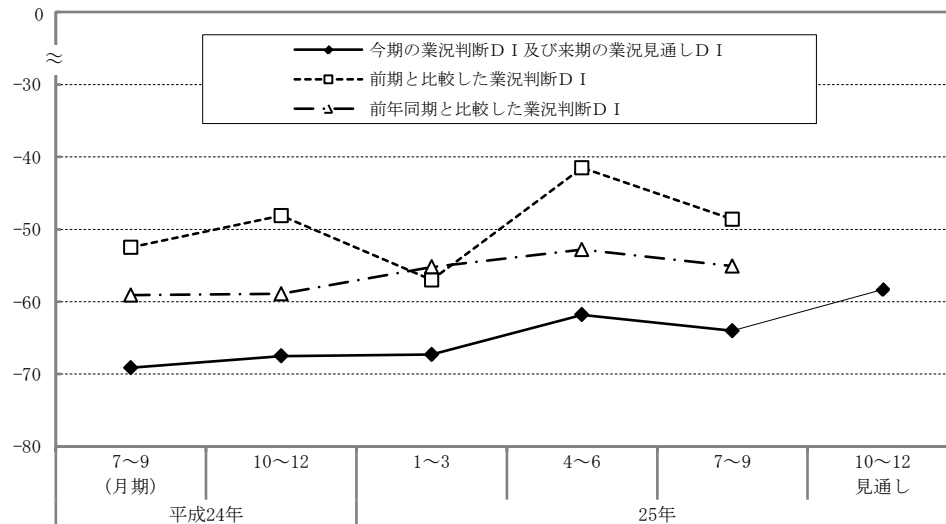
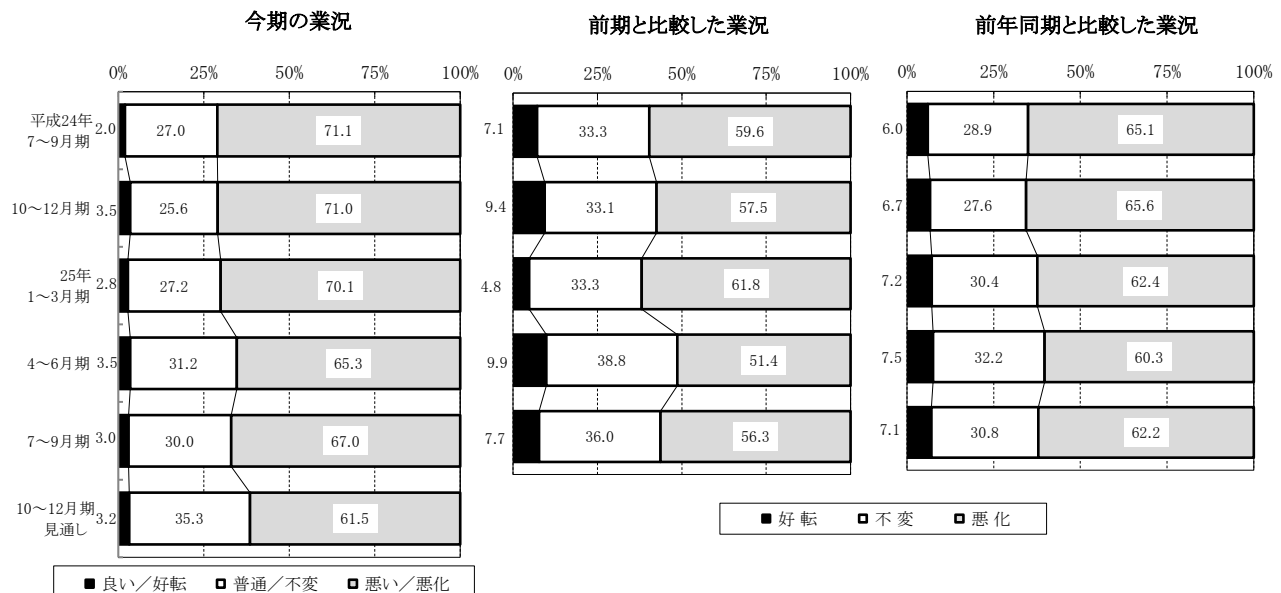


図3 業況判断の割合 -調査産業計-



(2) 売上の状況

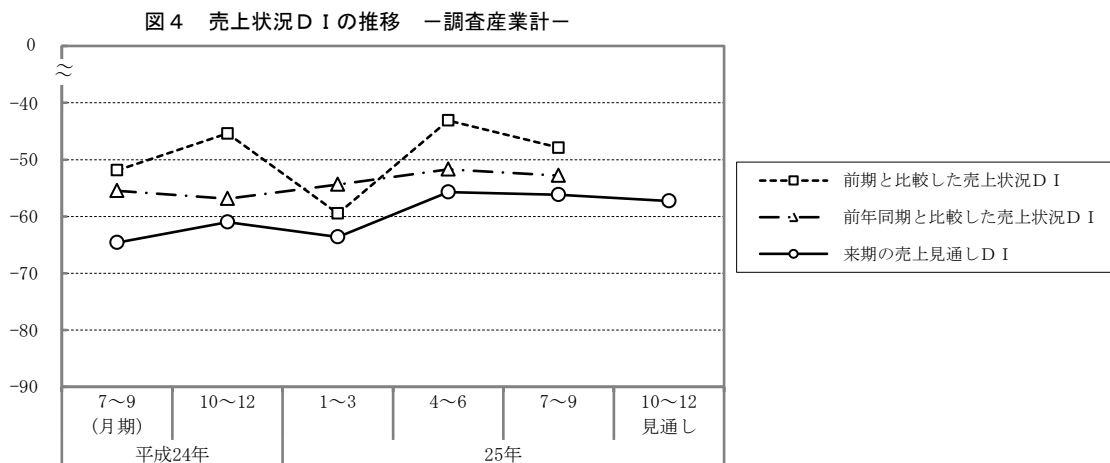
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況D Iは (-)47.9 で、前期 (-43.1) に比べ、4.8 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況D Iは (-)52.8 で、前期 (-51.7) に比べ、1.1 ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しD Iは (-)57.3 で、前期における今期の売上見通し (-56.2) に比べ、1.1 ポイントの悪化の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

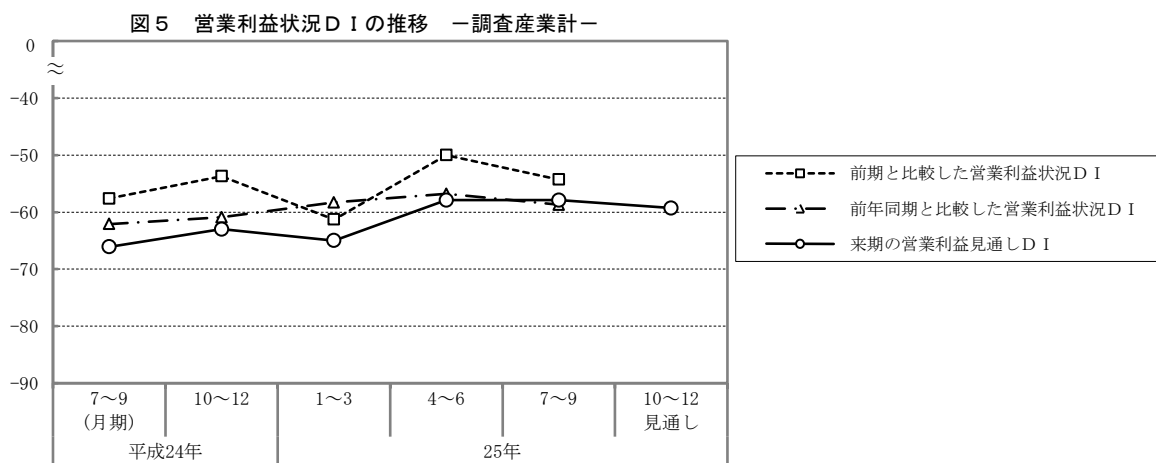
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況D Iは (-)54.3 で、前期 (-50.0) に比べ、4.3 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況D Iは (-)58.7 で、前期 (-56.8) に比べ、1.9 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

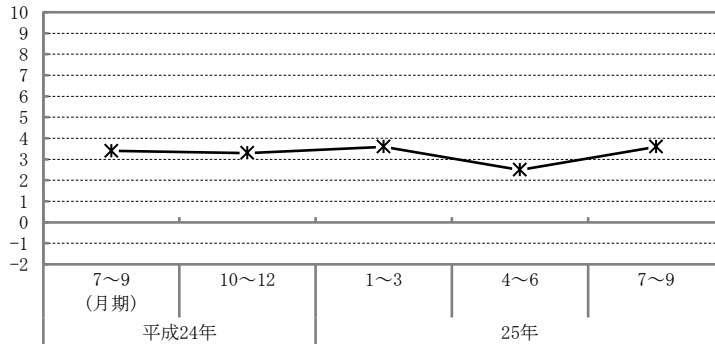
来期の営業利益見通しD Iは (-)59.3 で、前期における今期の営業利益見通し (-57.9) に比べ、1.4ポイントの悪化の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) 3.6 で、前期(+ 2.5)に比べ、 1.1 ポイント「過剰」が拡大した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

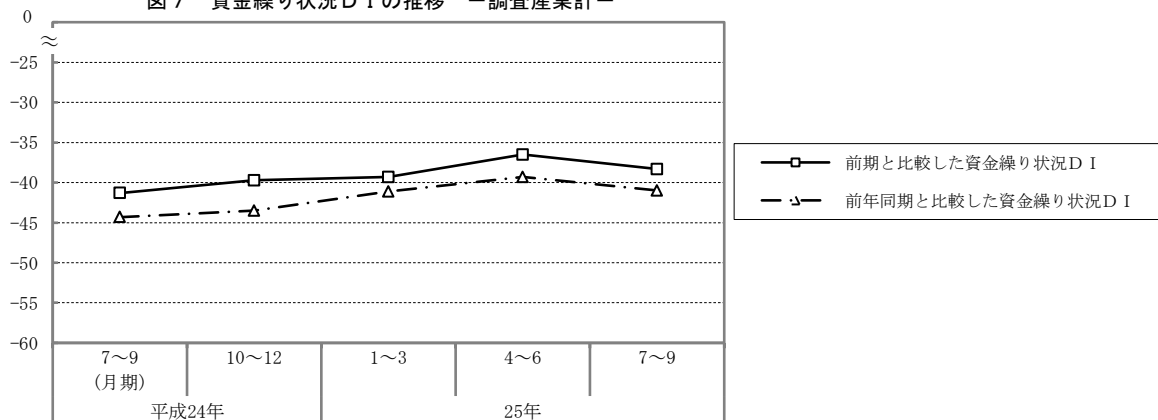


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) 38.3 で、前期(- 36.5)に比べ、 1.8 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) 41.0 で、前期(- 39.3)に比べ、 1.7 ポイント悪化した。

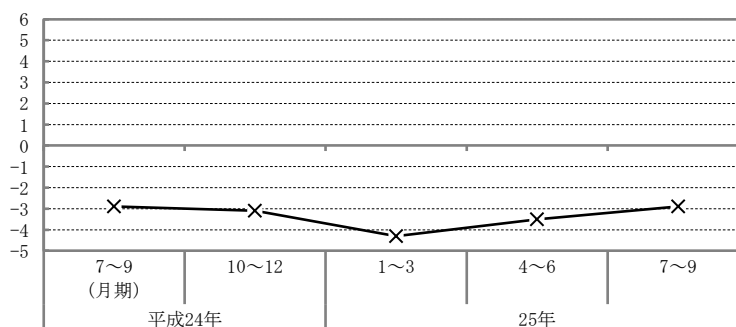
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) 2.9 で、前期(- 3.5)に比べ、 0.6 ポイント「不足」が縮小した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成25年7～9月期）の業況判断DIは(-)56.8で、前期（平成25年4～6月期）(-54.4)に比べ、2.4ポイント悪化した。

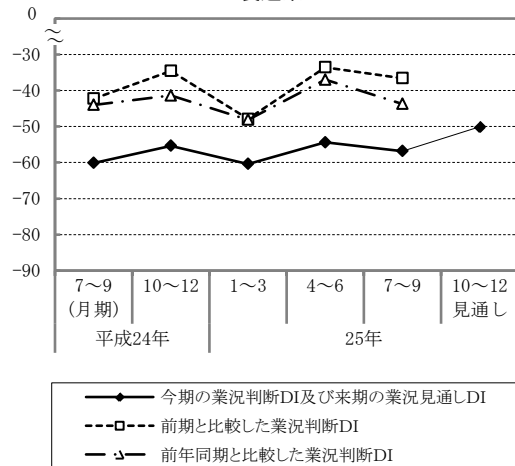
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)36.6で、前期(-33.6)に比べ、3.0ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成24年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)43.7で、前期(-37.0)に比べ、6.7ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成25年10～12月期）の業況見通しDIは(-)50.1で、今期の業況判断(-56.8)に比べ、6.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

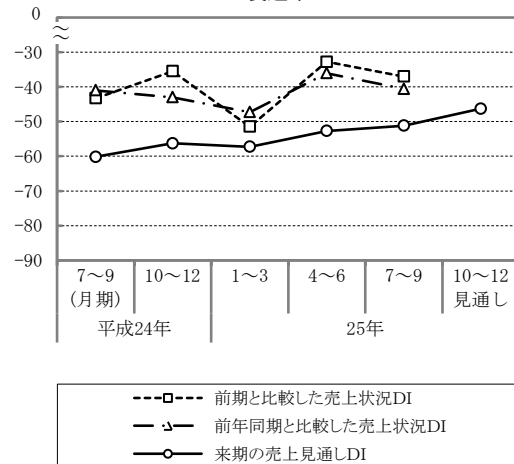
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)37.0で、前期(-32.8)に比べ、4.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)40.6で、前期(-36.1)に比べ、4.5ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)46.3で、前期における今期の売上見通し(-51.2)に比べ、4.9ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

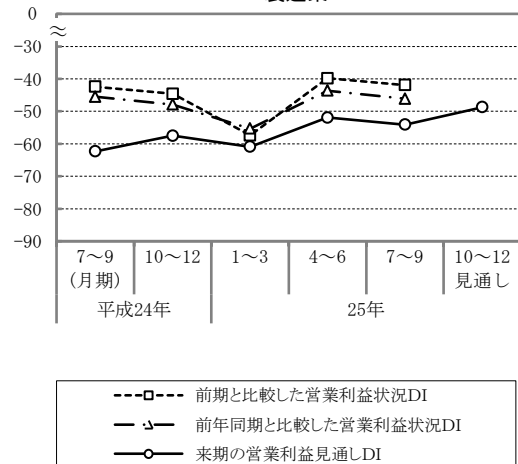
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)41.9で、前期(-39.8)に比べ、2.1ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)46.1で、前期(-43.6)に比べ、2.5ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)48.7で、前期における今期の営業利益見通し(-54.1)に比べ、5.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)0.8 で、前期 (+0.9) に比べ、0.1 ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)34.7 で、前期 (-31.6) に比べ、3.1 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)36.2 で、前期 (-33.5) に比べ、2.7 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)2.1 で、前期 (-2.8) に比べ、0.7 ポイント「不足」が縮小した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 - 製造業 -

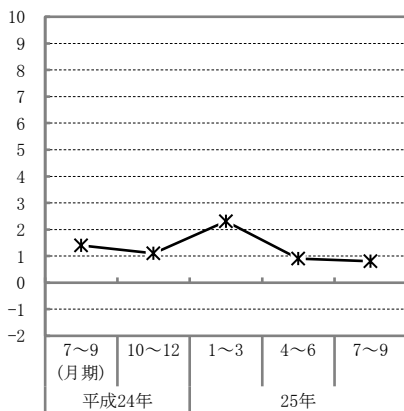


図13 資金繰り状況DIの推移 - 製造業 -

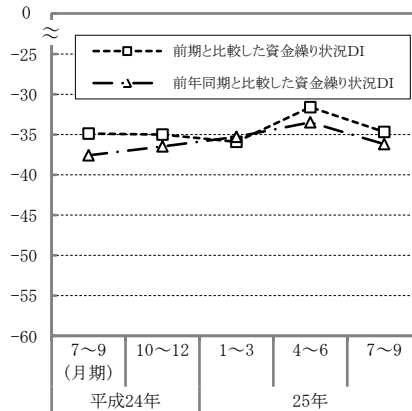
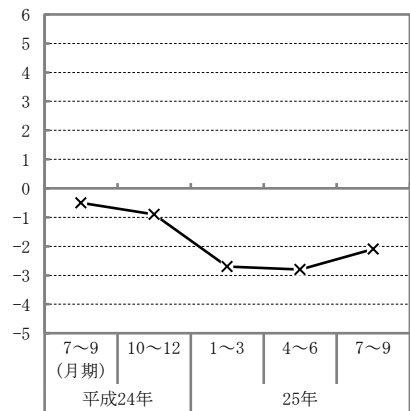


図14 雇用状況DIの推移 - 製造業 -



3 卸売業、小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成25年7～9月期）の業況判断DIは (-)65.0 で、前期（平成25年4～6月期） (-65.9) に比べ、0.9 ポイント改善した。

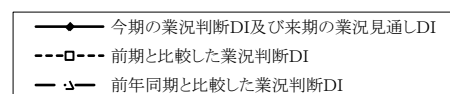
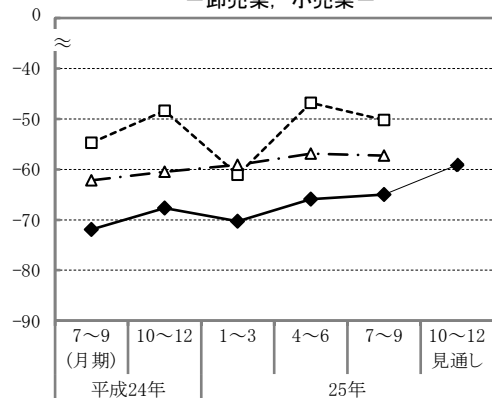
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)50.2 で、前期 (-46.8) に比べ、3.4 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成24年7～9月期）と比較した業況判断DIは (-)57.3 で、前期 (-56.9) に比べ、0.4 ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成25年10～12月期）の業況見通しDIは (-)59.1 で、今期の業況判断 (-65.0) に比べ、5.9 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 - 卸売業、小売業 -



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

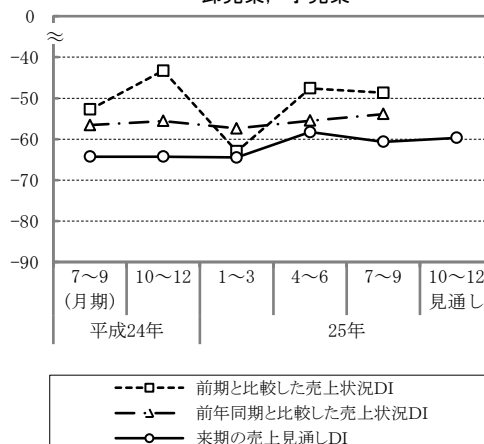
ア 前期と比較した売上状況DIは (-)48.7 で、前期 (-47.6) に比べ、1.1 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)53.9 で、前期 (-55.5) に比べ、1.6 ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)59.7 で、前期における今期の売上見通し (-60.7) に比べ、1.0 ポイントの改善の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

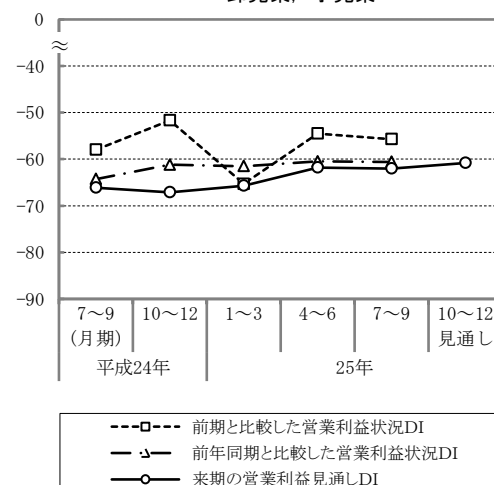
ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)55.7 で、前期 (-54.5) に比べ、1.2 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)60.6 で、前期 (-60.5) に比べ、0.1 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは (-)60.8 で、前期における今期の営業利益見通し (-62.0) に比べ、1.2 ポイントの改善の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)4.0 で、前期 (+3.5) に比べ、0.5 ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)37.9 で、前期 (-39.7) に比べ、1.8ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)41.7 で、前期 (-42.5) に比べ、0.8 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)3.2 で、前期 (-4.6) に比べ、1.4 ポイント「不足」が縮小した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

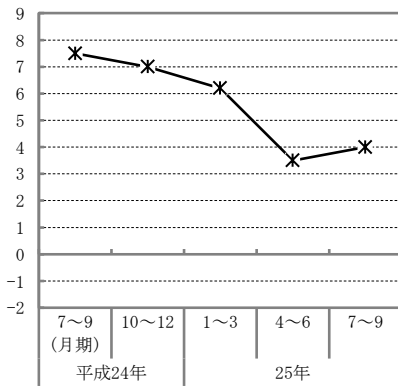


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

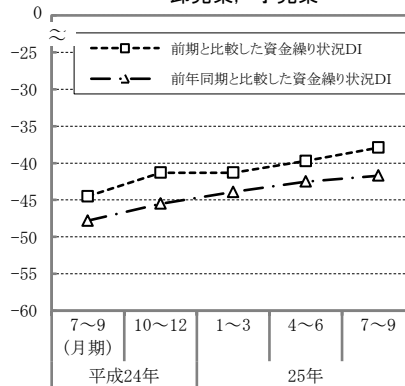
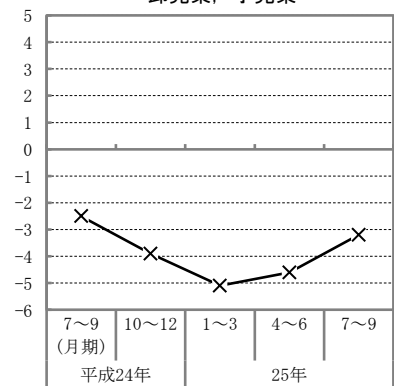


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業, 小売業-



4 宿泊業, 飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成25年7～9月期）の業況判断DIは(-)63.9で、前期（平成25年4～6月期）(-60.9)に比べ、3.0ポイント悪化した。

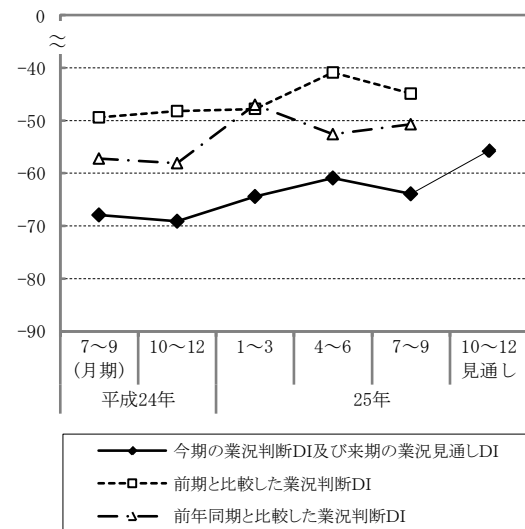
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)44.9で、前期(-40.9)に比べ、4.0ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成24年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)50.7で、前期(-52.6)に比べ、1.9ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成25年10～12月期）の業況見通しDIは(-)55.7で、今期の業況判断(-63.9)に比べ、8.2ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

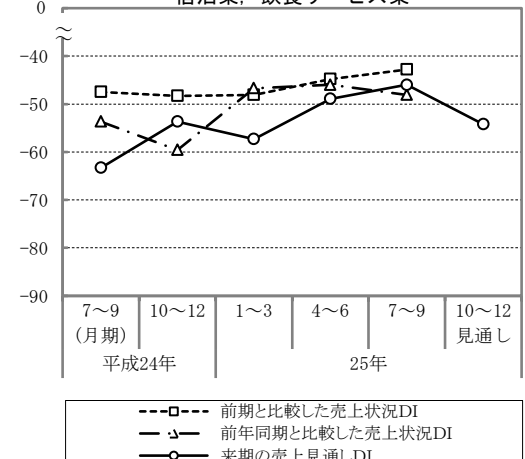
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)42.8で、前期(-44.8)に比べ、2.0ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)48.1で、前期(-46.0)に比べ、2.1ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)54.2で、前期における今期の売上見通し(-46.0)に比べ、8.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

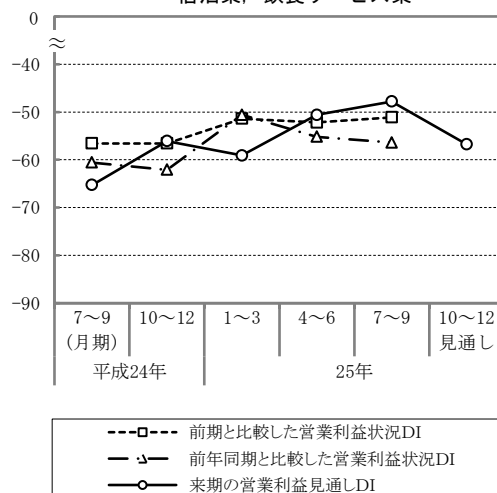
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)51.1で、前期(-52.2)に比べ、1.1ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)56.4で、前期(-55.2)に比べ、1.2ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)56.8で、前期における今期の営業利益見通し(-47.8)に比べ、9.0ポイントの悪化の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)7.4で、前期(+3.0)に比べ、4.4ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)40.3で、前期(-37.1)に比べ、3.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)41.2で、前期(-39.0)に比べ、2.2ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)4.7で、前期(-2.9)に比べ、1.8ポイント「不足」が拡大した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

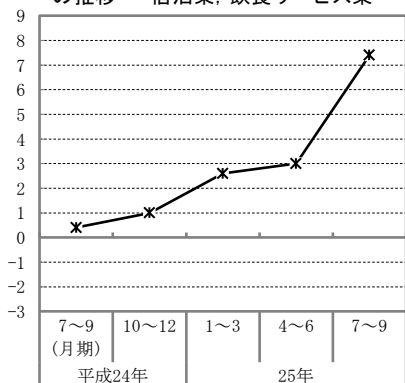


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

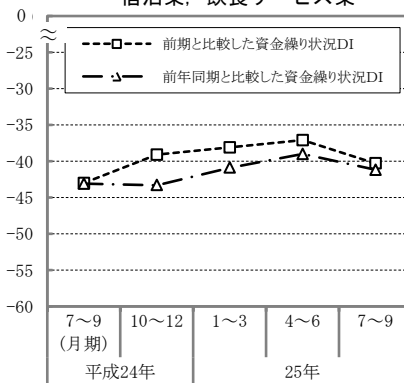
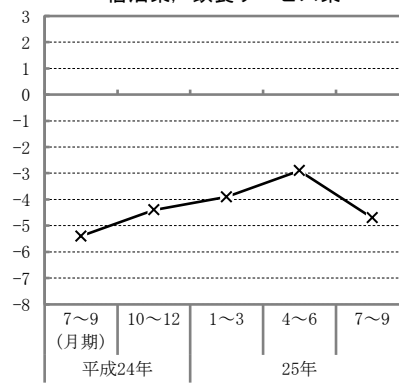


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

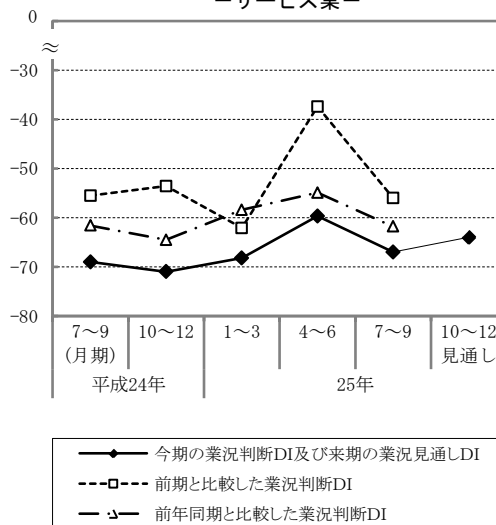
① 今期の業況

- ア 今期（平成25年7～9月期）の業況判断DIは(-)67.0で、前期（平成25年4～6月期）(-59.7)に比べ、7.3ポイント悪化した。
- イ 前期と比較した業況判断DIは(-)56.0で、前期(-37.4)に比べ、18.6ポイント悪化した。
- ウ 前年同期（平成24年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)61.8で、前期(-54.9)に比べ、6.9ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成25年10～12月期）の業況見通しDIは(-)64.0で、今期の業況判断(-67.0)に比べ、3.0ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

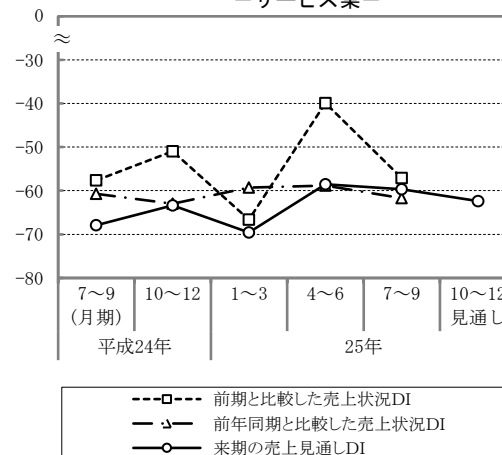
① 今期の売上の状況

- ア 前期と比較した売上状況DIは(-)57.1で、前期(-39.9)に比べ、17.2ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)61.7で、前期(-58.8)に比べ、2.9ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)62.4で、前期における今期の売上見通し(-59.7)に比べ、2.7ポイントの悪化の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

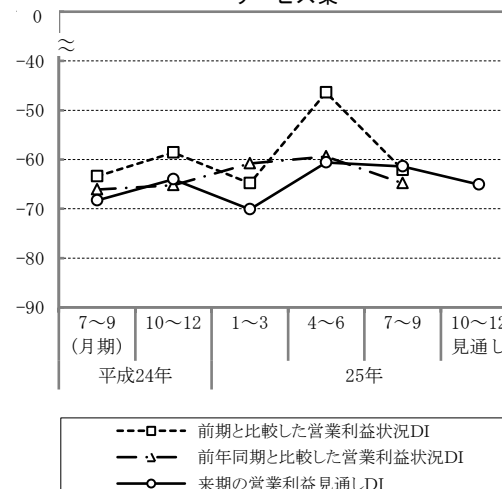
① 今期の営業利益の状況

- ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)62.1で、前期(-46.4)に比べ、15.7ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)64.8で、前期(-59.4)に比べ、5.4ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)65.1で、前期における今期の営業利益見通し(-61.4)に比べ、3.7ポイントの悪化の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)1.5 で、前期 (+1.6) に比べ、0.1 ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)39.5 で、前期 (-33.5) に比べ、6.0 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)42.6 で、前期 (-37.5) に比べ、5.1 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)1.3 で、前期 (-2.6) に比べ、1.3 ポイント「不足」が縮小した。

図30 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -サービス業-

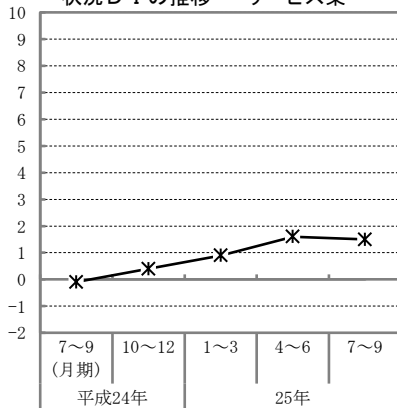


図31 資金繰り状況DIの推移 -サービス業-

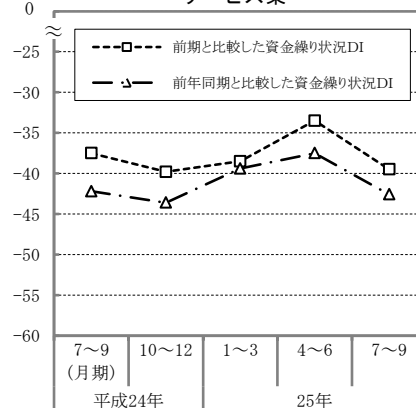
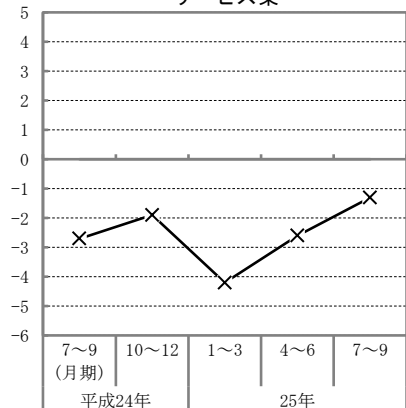


図32 雇用状況DIの推移 -サービス業-



Ⅲ 営業収支

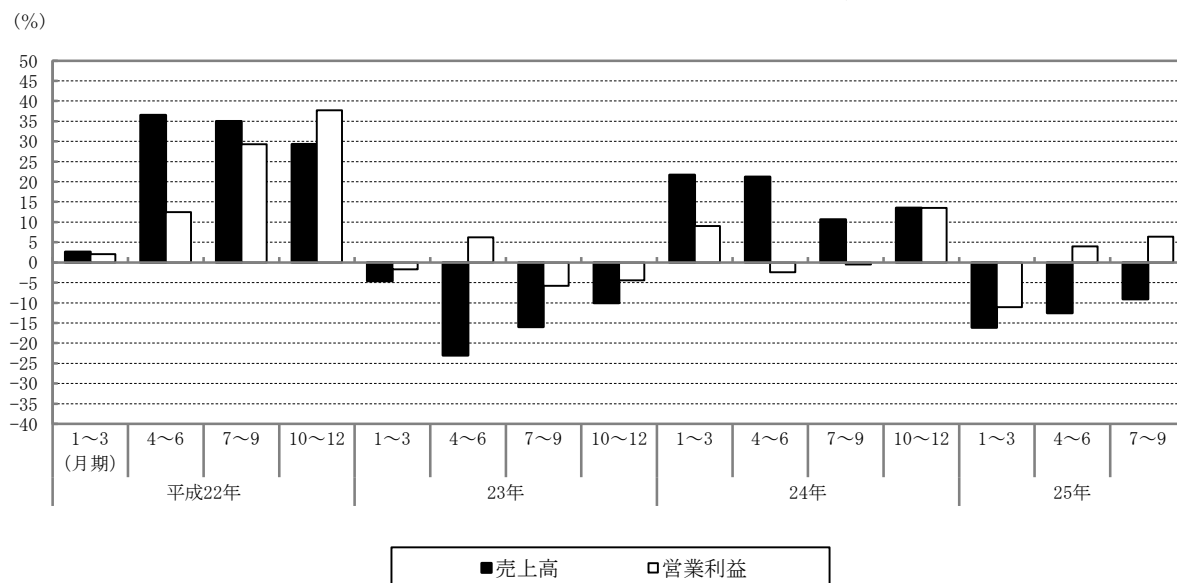
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は211万9000円で、これに対する費用は売上原価が67万1000円、営業費が79万8000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は65万1000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)9.1%で、3期連続で減少した。また、営業利益は(+)6.4%で、2期連続で増加した。

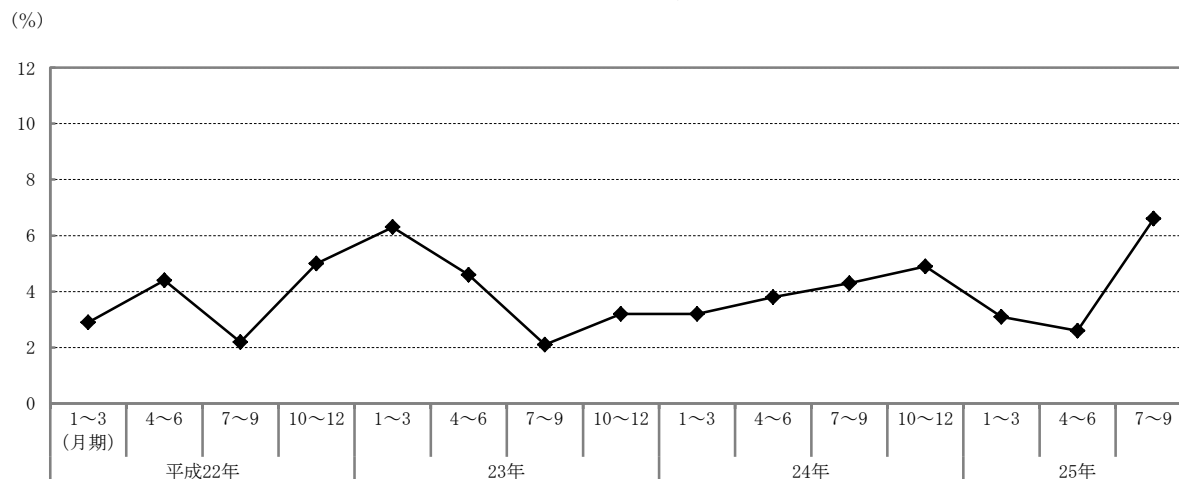
図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -製造業-



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は13万9000円で、前年同期(10万円)を上回った。また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は6.6%で、前年同期(4.3%)を2.3ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 -製造業-

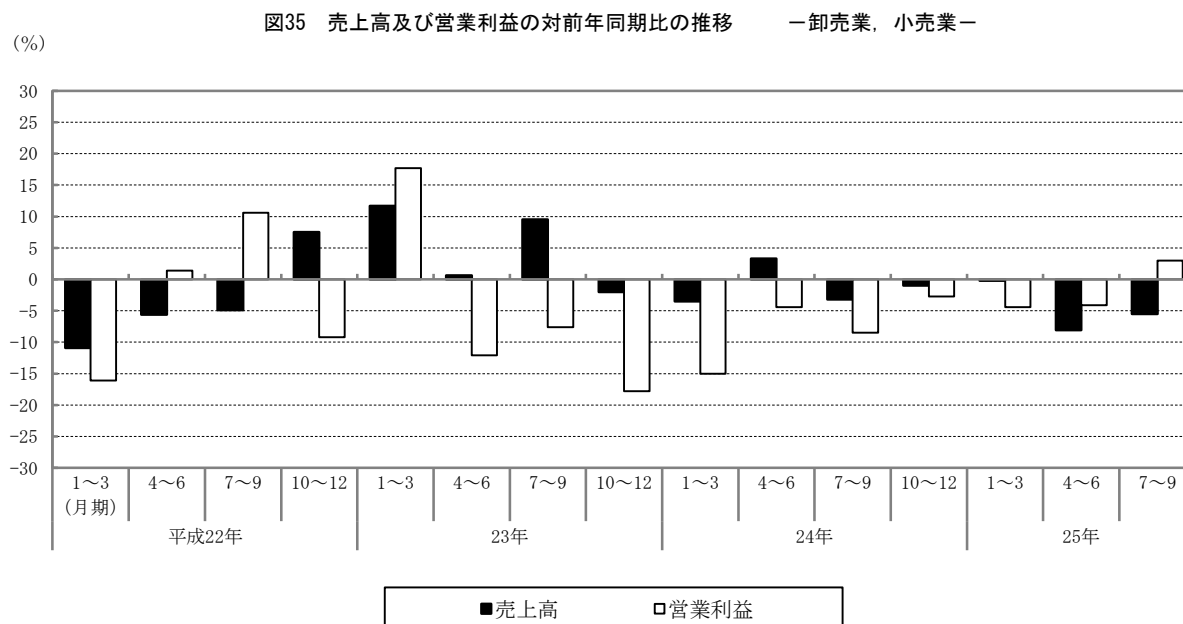


2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

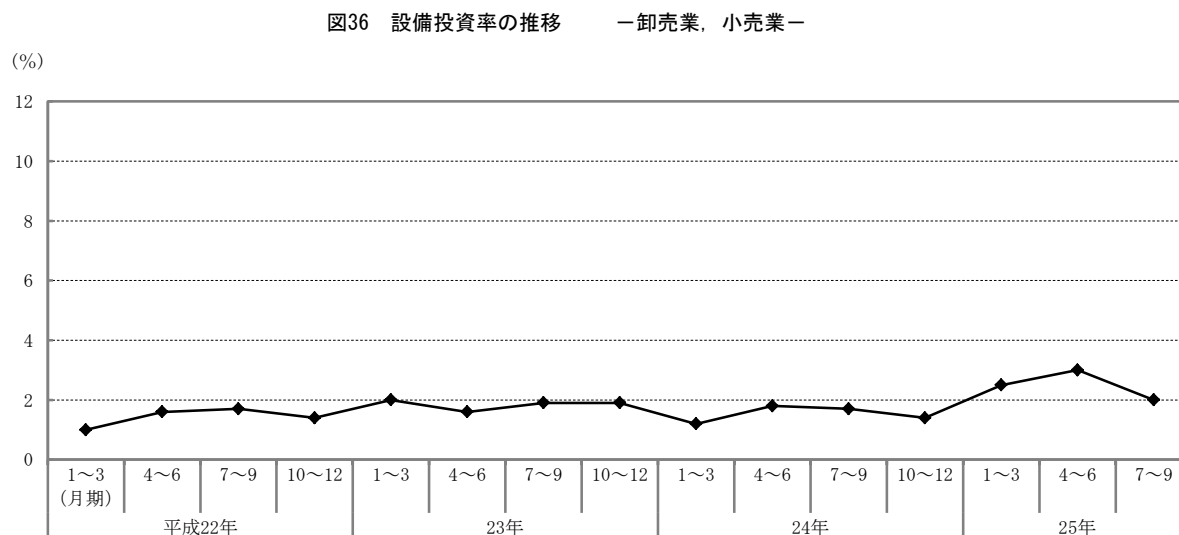
今期の1事業所当たりの売上高は 396万9000円 で、これに対する費用は売上原価が 268万7000円、営業費が 83万6000円 となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は 44万6000円 となった。

対前年同期比をみると、売上高は (-)5.5% で、5期連続で減少した。また、営業利益は (+)3.0% で、10期ぶりに増加した。



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は 8万1000円 で、前年同期 (7万1000円) を上回った。また、設備投資率は 2.0% で、前年同期 (1.7%) を0.3ポイント上回った。



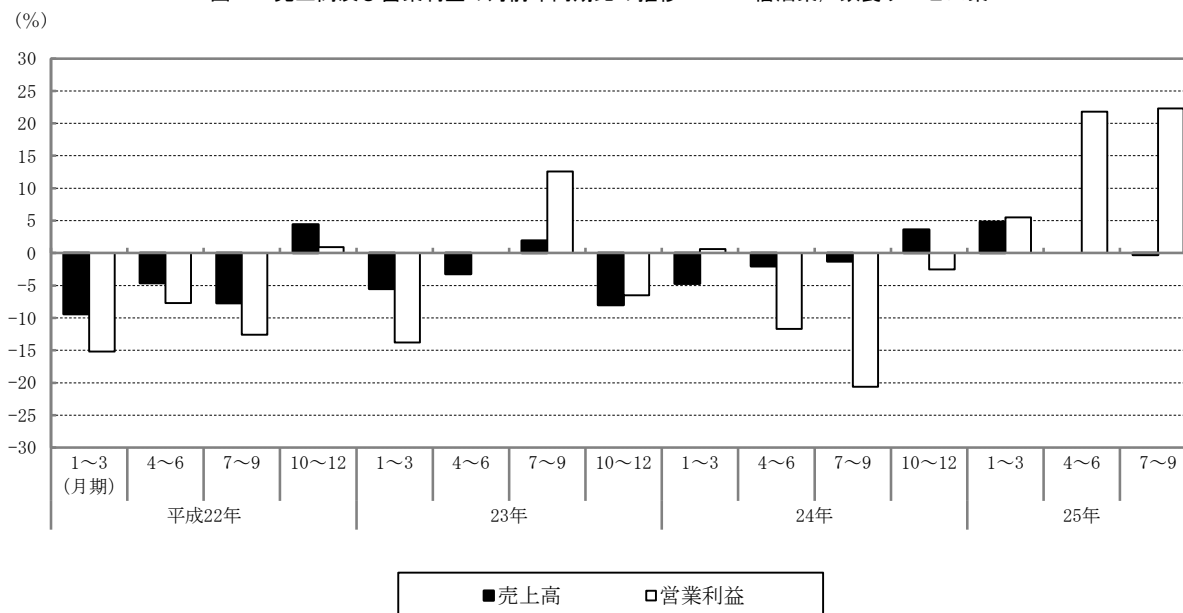
3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は215万8000円で、これに対する費用は売上原価が89万3000円、営業費が83万2000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は43万3000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)0.3%で、4期ぶりに減少した。また、営業利益は(+)22.3%で、3期連続で増加した。

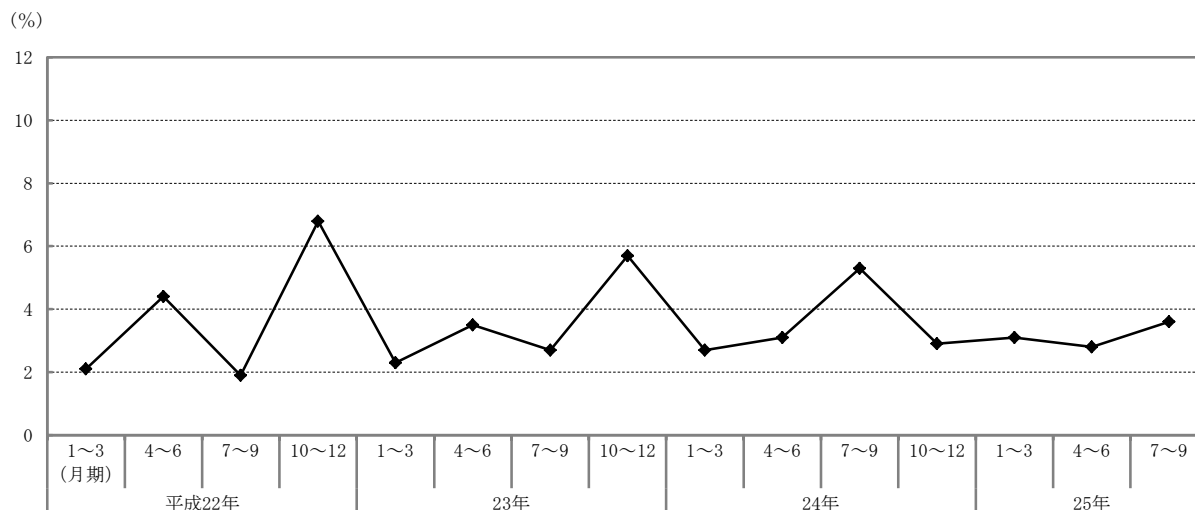
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は7万8000円で、前年同期(11万5000円)を下回った。また、設備投資率は3.6%で、前年同期(5.3%)を1.7ポイント下回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



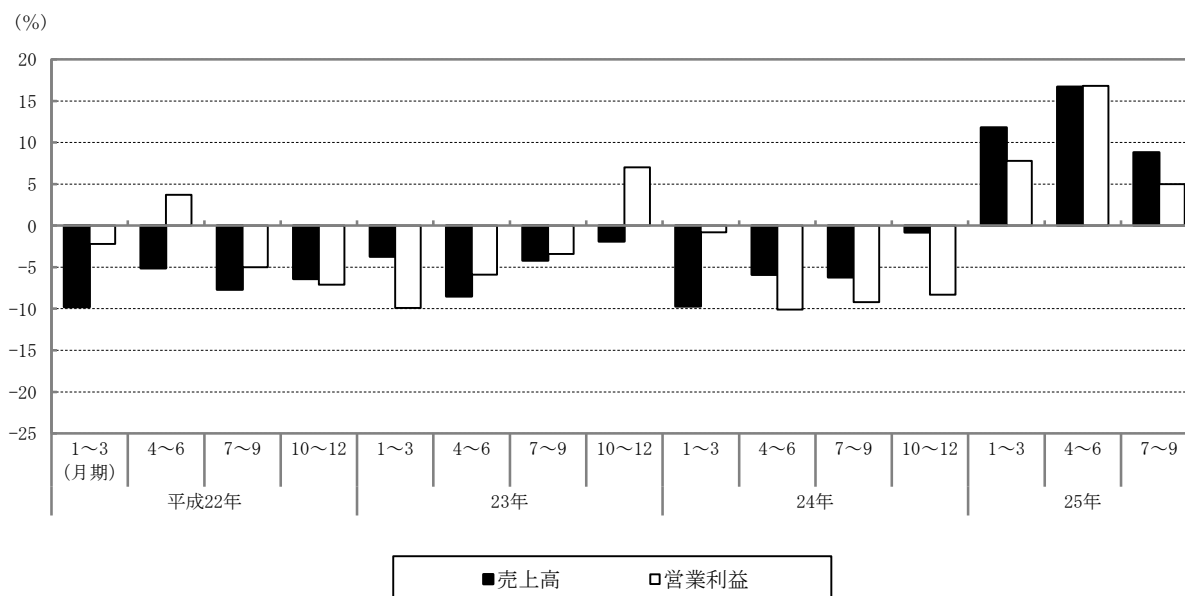
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は127万4000円で、これに対する費用は売上原価が22万7000円、営業費が61万円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は43万7000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 8.8% で、3期連続で増加した。また、営業利益は(+) 5.0% で、3期連続で増加した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —サービス業—



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は4万5000円で、前年同期(9万1000円)を下回った。また、設備投資率は 3.5% で、前年同期(7.8%)を4.3ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 —サービス業—

